

アルビクス・映像／音声エラー検出装置 VAD-230HD

Rev.0.5

特 長

SD - SDI / HD - SDI信号入力に対応した映像／音声エラー検出装置です。
異なる解像度の素材を比較し、障害を検知する事が出来ます。

仕 様

素材側映像・音声入力信号

入力信号数 : 1系統
 信号形式 : 映像 : SD-SDI SMPTE259M - C 480i [D1]
 HD-SDI SMPTE292M 1080i
 : 音声 : エンベデッドオーディオ 48KHz 16bit 4ch / 8ch

入力接栓 : BNCコネクタ

ダビング側映像・音声入力信号

入力信号数 : 1系統
 信号形式 : 映像 : SD-SDI SMPTE259M - C 480i [D1]
 HD-SDI SMPTE292M 1080i
 : 音声 : エンベデッドオーディオ 48KHz 16bit 4ch / 8ch

入力接栓 : BNCコネクタ

映像モニタ出力信号

出力信号数 : 素材側ディレイ・ダビング側 各1系統
 信号形式 : NTSC、アナログVBS
 出力接栓 : BNCコネクタ

映像調整用比較映像モニタ出力信号

出力信号数 : 3系統
 信号形式 : NTSC、アナログVBS
 出力接栓 : BNCコネクタ

音声モニタ出力信号

出力信号数 : 素材側ディレイ 2系統
 ダビング側 2系統
 信号形式 : アナログ アンバランスステレオ
 入力接栓 : RCAピンジャック

外部通知

通信仕様 : 100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インタフェース
 プロトコル : SNMP
 コネクタ : RJ - 45モジュラ

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります

【型番】

VAD-230HD

アルビクス株式会社

【整理番号】

素材側映像・音声エラー検知項目

- ・映像状態(HD / SD / 同期断) 検知
- ・映像ベースフリーズ
- ・映像ベース黒味
- ・映像ベースレベル異常
- ・映像ウィンドウフリーズ
- ・映像ウィンドウ黒味
- ・音声レベル異常(無音 / レベル高 / レベル低)
- ・音声逆相
- ・1kHz音声検出

ダビング側映像・音声エラー検知項目

- ・映像状態(HD / SD / 同期断)検知
- ・映像ベースフリーズ
- ・映像ベース黒味
- ・映像ベースレベル異常
- ・映像ウィンドウフリーズ
- ・映像ウィンドウ黒味
- ・音声レベル異常(無音 / レベル高 / レベル低)
- ・音声逆相
- ・1kHz音声検出

比較エラー検知項目

- ・映像比較
 - 素材側 / ダビング側の2系統を同期させ、映像を比較します。
 - 映像(輝度)信号を比較前にフィルタ処理し、映像の同一性をチェックします。
 - 不一致箇所はモニタ出力上にハイライト表示されます。
- ・音声比較
 - 素材側 / ダビング側の2系統を同期させ、音声信号を比較します。
 - 検知対象のオーディオチャンネルは、任意の2組を設定します。

信号遅延補正

システム内で発生する素材側信号とダビング側信号間の遅れ分を内部メモリで補正し、同一フレームの映像を比較します。補正可能な遅延量は30フレームです。

LTC / VITC読取り

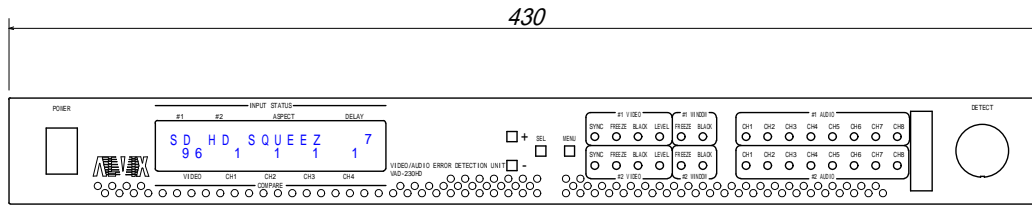
HD - SDiの場合はV - ANCにエンベデッドされたLTC / VITC値、SD - SDiの場合はVBI(12H ~ 18H)にインサートされたVITCを読取り、エラー発生時の値を通知することができます。

外形寸法	: W430 × H44 × D470 mm (コネクタ等の突起部を含まず)
質量	: 約 8 kg
電源電圧	: 100V ± 10% AC 50 / 60Hz
消費電力	: 約 50 W
使用温度	: 5 ~ 40

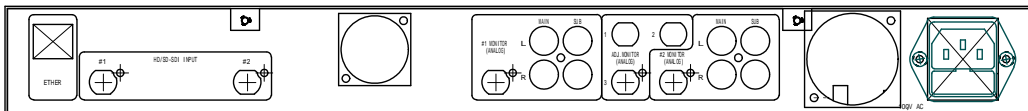
仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

【型番】 VAD-230HD	アルビクス株式会社	【整理番号】
-------------------	-----------	--------

外觀図



前面



背面



側面

仕様及び外觀は改良のため予告なく変更することがあります。

<p>【型番】 VAD-230HD</p>	<p>アルビクス株式会社</p>	<p>【整理番号】</p>
---------------------------	------------------	---------------

SNMP MIB 構造

iso.org.dod.internet.private.enterprise.honko.vad230hd (1.3.6.1.4.1.19892.13) より以下を示す。

下表の“入力”は素材側、“出力”はダビング側

項目1	項目2	項目3	項目4	値	種別	データ型	内容	対応オペレーション
systemVAD(1)	version(1)	farmVer(1)		000 ~ 999	読み込み	OCTET STRING	ファームウェアのバージョン バージョンが1.00のとき、100。 1.01のとき101となります。	GetRequestに対応
		hardVer(2)		000 ~ 999	読み込み	OCTET STRING	ハードウェアのバージョン バージョンが1.00のとき、100。 1.01のとき101となります。	GetRequestに対応
		snmpFarmVer(3)		000 ~ 999	読み込み	OCTET STRING	SNMP制御部ファームウェアのバージョン バージョンが1.00のとき、100。 1.01のとき101となります。	GetRequestに対応
	time(2)			yy:yy:mm:dd:hh:mm:ss:xx	読み書き	DateAndTime	VA - DETの現在日時 電源投入時は1年1月1日0時0分0秒にリセットされるので、マネージャーから現在時刻を設定する必要があります。 (xxの値について) xxの値は、00Hexを設定してください。 xxの値を設定した場合、正常に設定完了しますが、 VA内部ではxxの値は設定しません。(内部は00Hex 固定) また、xxの値を省略した7Byteでも設定可能です。 SetRequestに対する、GetResponseの時、xxの値は、設定された値をVAより送信します。 但しVA内部ではxxの値は設定しません。 GetRequestに対する、GetResponseの時、xxの値は、00Hex 固定でVAより送信します。 Trapの時、xxの値は、00Hex 固定でVAより送信します。	GetRequest・SetRequestに対応 Trap通知時、先頭に付加されます。
status(2)				0:正常 1:電源異常 2:起動中 3:ディレイ値計測中	読み込み	INTEGER	VA - DETステータス 正常:エラー検知を実行中です。 電源異常:電源電圧が異常です。 起動中:VA - DETの初期化処理中です。 ディレイ値計測中:映像比較ディレイを計測中です。	GetRequest・Trapに対応

項目1	項目2	項目3	項目4	値	種別	データ型	内容	対応オペレーション
measure(3)	delay(1)	videoDelay(1)		000 ~ 128	読み込み	INTEGER	映像比較ディレイ値 SDI入力1(素材側ビデオ信号)とSDI入力2(ダビング側ビデオ信号)の遅延量です。 遅延量はフレーム数で表されます。	GetRequestに対応
		audioDelay(2)		000 ~ 128	読み込み	INTEGER	音声比較ディレイ値 SDI入力1(素材側ビデオ信号)とSDI入力2(ダビング側ビデオ信号)の 音声信号の遅延量です。 遅延量はフレーム数に換算された値で表されます。	GetRequestに対応
inputAudio(2)		ch1In (1)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch1レベル SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch1のレベルです。 単位は - dBで、読みが30の場合、レベルは - 30dBです。 0dBが最大(フルスケール)、- 60dBが最小(完全無音)です。	GetRequestに対応
		ch2In (2)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch2レベル SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch2のレベルです。	GetRequestに対応
		ch3In (3)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch3レベル SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch3のレベルです。	GetRequestに対応
		ch4In (4)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch4レベル SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch4のレベルです。	GetRequestに対応
		ch5In (5)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch5レベル SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch5のレベルです。	GetRequestに対応
		ch6In (6)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch6レベル SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch6のレベルです。	GetRequestに対応
		ch7In (7)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch7レベル SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch7のレベルです。	GetRequestに対応
		ch8In (8)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch8レベル SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch8のレベルです。	GetRequestに対応
outputAudio(3)		ch1Out (1)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	出力音声ch1レベル SDI入力2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch1のレベルです。 単位は - dBで、読みが30の場合、レベルは - 30dBです。	GetRequestに対応
		ch2Out (2)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	出力音声ch2レベル SDI入力2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch2のレベルです。	GetRequestに対応
		ch3Out (3)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	出力音声ch3レベル SDI入力2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch3のレベルです。	GetRequestに対応
		ch4Out (4)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	出力音声ch4レベル SDI入力2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch4のレベルです。	GetRequestに対応
		ch5Out (5)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	出力音声ch5レベル SDI入力2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch5のレベルです。	GetRequestに対応
		ch6Out (6)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	出力音声ch6レベル SDI入力2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch6のレベルです。	GetRequestに対応
		ch7Out (7)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	出力音声ch7レベル SDI入力2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch7のレベルです。	GetRequestに対応
		ch8Out (8)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	出力音声ch8レベル SDI入力2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch8のレベルです。	GetRequestに対応
compare(4)		videoDisagreement(1)		000 ~ 096	読み込み	INTEGER	映像比較の不一致ブロック数 0 = 完全一致、96 = 完全不一致	GetRequestに対応
other(5)		videoMode(1)		000 ~ 002	読み込み	INTEGER	局間情報内の画角設定 SDI入力1(素材側)の映像内に重畳された ARIB STD-B39 形式の 局間情報内の画角設定です。 0:局間情報無し 1:サイドカット 2:スクイーズ 3:レターボックス(16:9)	GetRequestに対応

項目1	項目2	項目3	項目4	値	種別	データ型	内容	対応オペレーション
measure(3)	other(5)	audioMode(2)		000 ~ 024	読み込み	INTEGER	<p>局間情報内の音声モード SDI 入力 1 (素材側) の映像内に重畳された ARIB STD-B39 形式の局間情報内の音声モードです。</p> <p>以下、M=モノラル、S=ステレオ、D=デュアルモノラル、LFE=低域強調 a/b=前方 / 後方チャンネル数 (例: 3/2=前方 3 チャンネル / 後方 2 チャンネル)</p> <p>0 : 局間情報無し 1 : M 2 : 2M(D) 3 : 3M(D+M) 4 : 4M(2D) 5 : 5M(2D+M) 6 : 6M(3D) 7 : 7M(3D+M) 8 : 8M(4D) 9 : S 10 : 2S 11 : 3S 12 : 4S 13 : 3/0 14 : 2/1 15 : 3/1 16 : 2/2 17 : 3/2 18 : 3/2+LFE (5.1) 19 : S+M 20 : S+D 21 : 5.1+S 22 : 3/1+S 23 : 3/2+S 24 : その他</p>	GetRequestに対応

項目1	項目2	項目3	項目4	値	種別	データ型	内容	対応オペレーション	関連 MIB	標準値	
unitSetting(4)	windowPoint(1)	windowPointX1(1)		000 ~ 720	読み書き	INTEGER	ウィンドウ座標 X1 WINDOW(子画面)範囲設定の、モニタ画面上の水平開始座標です。	GetRequest・SetRequestに対応		0	
		windowPointX2(2)		000 ~ 720	読み書き	INTEGER	ウィンドウ座標 X2 WINDOW(子画面)範囲設定の、モニタ画面上の水平終了座標です。 (水平終了座標 - 水平開始座標) > 100である必要があります。 (水平終了座標 - 水平開始座標) 100の場合、WINDOW設定は無効(設定OFF)となります。	GetRequest・SetRequestに対応		0	
		windowPointY1(3)		000 ~ 485	読み書き	INTEGER	ウィンドウ座標 Y1 WINDOW(子画面)範囲設定の、モニタ画面上の垂直開始座標です。	GetRequest・SetRequestに対応		0	
		windowPointY2(4)		000 ~ 485	読み書き	INTEGER	ウィンドウ座標 Y2 WINDOW(子画面)範囲設定の、モニタ画面上の垂直終了座標です。 (垂直終了座標 - 垂直開始座標) > 30である必要があります。 (垂直終了座標 - 垂直開始座標) 30の場合、WINDOW設定は無効(設定OFF)となります。	GetRequest・SetRequestに対応		0	
	audioLevel(2)	audioInCh1Thres(1)	Low1In(1)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch1 レベル低 しきい値 SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch1のレベル低検知設定です。 単位は - dBで、読みが30の場合、レベルは - 30dBです。	GetRequest・SetRequestに対応		35
			High1In(2)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch1 レベル高 しきい値 SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch1のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		5
			Silent1In(3)		000 ~ 060	読み書き	INTEGER	入力音声 ch1 無音 しきい値 SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch1の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		40
		audioInCh2Thres(2)	Low2In(1)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch2 レベル低 しきい値 SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch2のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		35
			High2In(2)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch2 レベル高 しきい値 SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch2のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		5
			Silent2In(3)		000 ~ 060	読み書き	INTEGER	入力音声 ch2 無音 しきい値 SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch2の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		40
		audioInCh3Thres(3)	Low3In(1)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch3 レベル低 しきい値 SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch3のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		35
			High3In(2)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch3 レベル高 しきい値 SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch3のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		5
			Silent3In(3)		000 ~ 060	読み書き	INTEGER	入力音声 ch3 無音 しきい値 SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch3の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		40
		audioInCh4Thres(4)	Low4In(1)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch4 レベル低 しきい値 SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch4のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		35
			High4In(2)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch4 レベル高 しきい値 SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch4のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		5
			Silent4In(3)		000 ~ 060	読み書き	INTEGER	入力音声 ch4 無音 しきい値 SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch4の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		40
		audioInCh5Thres(5)	Low5In(1)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch5 レベル低 しきい値 SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch5のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		35
			High5In(2)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch5 レベル高 しきい値 SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch5のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		5
			Silent5In(3)		000 ~ 060	読み書き	INTEGER	入力音声 ch5 無音 しきい値 SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch5の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		40
		audioInCh6Thres(6)	Low6In(1)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch6 レベル低 しきい値 SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch6のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		35
High6In(2)			000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch6 レベル高 しきい値 SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch6のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		5		
Silent6In(3)			000 ~ 060	読み書き	INTEGER	入力音声 ch6 無音 しきい値 SDI入力1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch6の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		40		

項目1	項目2	項目3	項目4	値	種別	データ型	内容	対応オペレーション	関連 MIB	標準値
unitSetting(4)	audioLevel(2)	audioInCh7Thres(7)	Low7In(1)	0 0 0 ~ 0 5 0	読み書き	INTE GER	入力音声 ch7 レベル低 しきい値 S D I入力 1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch7のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		35
			High7In(2)	0 0 0 ~ 0 5 0	読み書き	INTE GER	入力音声 ch7 レベル高 しきい値 S D I入力 1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch7のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		5
			Silent7In(3)	0 0 0 ~ 0 6 0	読み書き	INTE GER	入力音声 ch7 無音 しきい値 S D I入力 1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch7の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		40
		audioInCh8Thres(8)	Low8In(1)	0 0 0 ~ 0 5 0	読み書き	INTE GER	入力音声 ch8 レベル低 しきい値 S D I入力 1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch8のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		35
			High8In(2)	0 0 0 ~ 0 5 0	読み書き	INTE GER	入力音声 ch8 レベル高 しきい値 S D I入力 1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch8のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		5
			Silent8In(3)	0 0 0 ~ 0 6 0	読み書き	INTE GER	入力音声 ch8 無音 しきい値 S D I入力 1(素材側ビデオ信号)の音声信号ch8の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		40
		audioOutCh1Thres(9)	Low1Out(1)	0 0 0 ~ 0 5 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch1 レベル低 しきい値 S D I入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch1のレベル低検知設定です。 単位は - dBで、読みが30の場合、レベルは - 30 dBです。	GetRequest・SetRequestに対応		35
			High1Out(2)	0 0 0 ~ 0 5 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch1 レベル高 しきい値 S D I入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch1のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		5
			Silent1Out(3)	0 0 0 ~ 0 6 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch1 無音 しきい値 S D I入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch1の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		40
		audioOutCh2Thres(10)	Low2Out(1)	0 0 0 ~ 0 5 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch2 レベル低 しきい値 S D I入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch2のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		35
			High2Out(2)	0 0 0 ~ 0 5 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch2 レベル高 しきい値 S D I入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch2のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		5
			Silent2Out(3)	0 0 0 ~ 0 6 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch2 無音 しきい値 S D I入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch2の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		40
		audioOutCh3Thres(11)	Low3Out(1)	0 0 0 ~ 0 5 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch3 レベル低 しきい値 S D I入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch3のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		35
			High3Out(2)	0 0 0 ~ 0 5 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch3 レベル高 しきい値 S D I入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch3のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		5
			Silent3Out(3)	0 0 0 ~ 0 6 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch3 無音 しきい値 S D I入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch3の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		40
		audioOutCh4Thres(12)	Low4Out(1)	0 0 0 ~ 0 5 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch4 レベル低 しきい値 S D I入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch4のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		35
			High4Out(2)	0 0 0 ~ 0 5 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch4 レベル高 しきい値 S D I入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch4のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		5
			Silent4Out(3)	0 0 0 ~ 0 6 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch4 無音 しきい値 S D I入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch4の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		40
		audioOutCh5Thres(13)	Low5Out(1)	0 0 0 ~ 0 5 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch5 レベル低 しきい値 S D I入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch5のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		35
			High5Out(2)	0 0 0 ~ 0 5 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch5 レベル高 しきい値 S D I入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch5のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		5
			Silent5Out(3)	0 0 0 ~ 0 6 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch5 無音 しきい値 S D I入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch5の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		40
		audioOutCh6Thres(14)	Low6Out(1)	0 0 0 ~ 0 5 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch6 レベル低 しきい値 S D I入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch6のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		35
			High6Out(2)	0 0 0 ~ 0 5 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch6 レベル高 しきい値 S D I入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch6のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		5
			Silent6Out(3)	0 0 0 ~ 0 6 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch6 無音 しきい値 S D I入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch6の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		40

項目1	項目2	項目3	項目4	値	種別	データ型	内容	対応オペレーション	関連 MIB	標準値	
unitSetting(4)	audioLevel(2)	audioOutCh7Thres(15)	Low7Out(1)	0 0 0 ~ 0 5 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch7 レベル低 しきい値 SDI入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch7のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		35	
			High7Out(2)	0 0 0 ~ 0 5 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch7 レベル高 しきい値 SDI入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch7のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		5	
			Silent7Out(3)	0 0 0 ~ 0 6 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch7 無音 しきい値 SDI入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch7の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		40	
		audioOutCh8Thres(16)	Low8Out(1)	0 0 0 ~ 0 5 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch8 レベル低 しきい値 SDI入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch8のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		35	
			High8Out(2)	0 0 0 ~ 0 5 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch8 レベル高 しきい値 SDI入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch8のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		5	
			Silent8Out(3)	0 0 0 ~ 0 6 0	読み書き	INTE GER	出力音声 ch8 無音 しきい値 SDI入力 2(ダビング側ビデオ信号)の音声信号ch8の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		40	
	videoThresho ld Compare(3)	videoCompare1(1)		0 0 0 ~ 0 0 4	読み書き	INTE GER	画像比較 しきい値1 映像比較前のフィルタ処理を切り替えます。 設定値が大きいかほど比較エラーを検知しやすくなります。	GetRequest・SetRequestに対応		2	
		videoCompare2(2)		0 0 0 ~ 0 9 5	読み書き	INTE GER	画像比較 しきい値2 比較エラーとする不一致ブロック数を設定します。 設定値以上のエラーブロックがある場合に比較エラーとします。	GetRequest・SetRequestに対応		0	
		videoCompare3(3)		0 0 0 ~ 0 9 9	読み書き	INTE GER	画像比較 しきい値3 比較エラーとする輝度差を IRE 単位で設定します。 画像をドット単位で比較し、設定値以上の輝度差があるドットをエラードットとしま す。	GetRequest・SetRequestに対応		15	
		videoCompare4(4)		0 0 0 ~ 0 0 3	読み書き	INTE GER	画像比較 しきい値4 比較エラーとするフレーム数を指定します。 (同じエラーブロックで設定値以上連続してエラーの場合を比較エラーとします) 0: 1フレーム 1: 2フレーム 2: 3フレーム 3: 4フレーム	GetRequest・SetRequestに対応		0	
	sizeAdjust(4)	(1)			読み書き	INTE GER	Reserve				
		(2)			読み書き	INTE GER	Reserve				
		(3)			読み書き	INTE GER	Reserve				
(4)				読み書き	INTE GER	Reserve					
lirdDownConvert(5)			0 0 0 ~ 0 0 3	読み書き	INTE GER	映像の画角を指定します。 0: サイドカット 1: スクワイーズ 2: レターボックス(16:9) 3: レターボックス(14:9)	GetRequest・SetRequestに対応		0		
audioThresho ld Compare(5)	audioCompare1(1)		0 0 0 ~ 1 0 0 (5の倍数)	読み書き	INTE GER	音声比較 しきい値 0=0dB、5=0.5dB、10=1dB、15=1.5dB、・・・ 95=9.5dB、100=10dB	GetRequest・SetRequestに対応		30		
	(2)			読み書き	INTE GER	Reserve					
	audioInMixMain(3)		0 0 0 ~ 0 0 4	読み書き	INTE GER	主音声を指定します。 本項目で指定した主音声同士が、音声比較モジュール1で比較されます。 0: ch1/ch2 1: ch3/ch4 2: ch5/ch6 3: ch7/ch8 4: ch1 ~ ch6 ダウンミックス	GetRequest・SetRequestに対応		0		

項目1	項目2	項目3	項目4	値	種別	データ型	内容	対応オペレーション	関連 MIB	標準値
unitSetting(4)	audioThresholdCompare(5)	audioInMixSub(4)		000 ~ 003	読み書き	INTEGER	副音声を指定します。 本項目で指定した副音声同士が、音声比較モジュール2で比較されます。 0: ch1/ch2 * 1: ch3/ch4 * 2: ch5/ch6 * 3: ch7/ch8 :前項 audioInMixMain(3)で4:ch1 ~ ch6 ダウンミックスを設定した場合は0 ~ 2を設定する事は出来ません。	GetRequest・SetRequestに対応		1
	otherSetting(6)	inputAudioDetect(1)		000 ~ 010	読み書き	INTEGER	入力音声検知ON / OFF 0: 全ch検知ON 1: ch1/ch2 検知ON 2: ch3/ch4 検知ON 3: ch5/ch6 検知ON 4: ch7/ch8 検知ON 5: ch1/ch2/ch3/ch4 検知ON 6: ch1/ch2/ch5/ch6 検知ON 7: ch1/ch2/ch7/ch8 検知ON 8: ch3/ch4/ch5/ch6 検知ON 9: ch3/ch4/ch7/ch8 検知ON 10: ch5/ch6/ch7/ch8 検知ON 11: ch1/ch2/ch3/ch4/ch5/ch6 検知ON 12: ch1/ch2/ch5/ch6/ch7/ch8 検知ON 13: ch1/ch2/ch3/ch4/ch7/ch8 検知ON 14: ch3/ch4/ch5/ch6/ch7/ch8 検知ON 15: 全ch 検知OFF	GetRequest・SetRequestに対応		0
		outputAudioDetect(2)		000 ~ 010	読み書き	INTEGER	出力音声検知ON / OFF 0: 全ch検知ON 1: ch1/ch2 検知ON 2: ch3/ch4 検知ON 3: ch5/ch6 検知ON 4: ch7/ch8 検知ON 5: ch1/ch2/ch3/ch4 検知ON 6: ch1/ch2/ch5/ch6 検知ON 7: ch1/ch2/ch7/ch8 検知ON 8: ch3/ch4/ch5/ch6 検知ON 9: ch3/ch4/ch7/ch8 検知ON 10: ch5/ch6/ch7/ch8 検知ON 11: ch1/ch2/ch3/ch4/ch5/ch6 検知ON 12: ch1/ch2/ch5/ch6/ch7/ch8 検知ON 13: ch1/ch2/ch3/ch4/ch7/ch8 検知ON 14: ch3/ch4/ch5/ch6/ch7/ch8 検知ON 15: 全ch 検知OFF	GetRequest・SetRequestに対応		0
		windowDisp(3)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	window範囲表示ON / OFF 0: OFF 1: モニタ画面上にwindow設定範囲を表示します。	GetRequest・SetRequestに対応		0
		videoDelay(4)		000 ~ 030 または 998 ~ 999	読み書き	INTEGER	映像デレイ設定 0 ~ 30: 設定したフレーム数がデレイ値となります。 998: 音声遅延量計測基準自動設定 999: 映像遅延量計測基準自動設定	GetRequest・SetRequestに対応		1

項目1	項目2	項目3	項目4	値	種別	データ型	内容	対応オペレーション	関連 MIB	標準値
unitSetting(4)	otherSetting(6)	readANInfo(5)		000 ~ 003	読み書き	INTEGER	局間情報読み取りON/OFF 0:OFF SDI入力1の映像内の局間情報を無視し、irdDownConvert(5)、audioInMixMain(3)、audioInMixSub(4)で画角/音声生成方式を設定します。 1:ON(画角/音声とも読み取る) SDI入力1の映像内のARIB STD-B39形式の局間情報を読み取り、局間情報に連動して画角/音声生成方式を設定します。 局間情報が無い場合は最後に読み取った局間情報の設定を継続し、本体起動時から一度も局間情報が無い場合はirdDownConvert(5)、audioInMixMain(3)、audioInMixSub(4)の設定を使用します。 2:ON(画角のみ読み取る) 画角のみ局間情報に連動し、音声モードはaudioInMixMain(3)/audioInMixSub(4)の設定を使用します。 3:ON(音声モードのみ読み取る) 音声モードのみ局間情報に連動し、画角はirdDownConvert(5)の設定を使用します。	GetRequest/SetRequestに対応		0
		resetDelayFrame(6)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	映像/音声ディレイ値の強制再計測 0:映像/音声ディレイ量の強制再計測処理を行わず、現状の計測結果を保持します。 (本項目をGETリクエストで読み出した場合は、常に0が読み出されます) 1:映像/音声ディレイ量の計測結果を全てリセットし、再計測処理を開始します。	GetRequest/SetRequestに対応 (GetRequest時には常に0を返す)		0
		videoBlackArea(7)		000 ~ 003	読み書き	INTEGER	映像黒味エラー検出面積 0:映像の黒味面積が95%以上の状態を映像黒味エラーとして通知します。 1:映像の黒味面積が96%以上の状態を映像黒味エラーとして通知します。 2:映像の黒味面積が97%以上の状態を映像黒味エラーとして通知します。 3:映像の黒味面積が98%以上の状態を映像黒味エラーとして通知します。	GetRequest/SetRequestに対応		0
		videoBlackDetect(8)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	映像黒味エラー検出条件 0:フリーズの状態(映像の動きの有無)とは無関係に、映像黒味の状態のみで黒味エラーを判定します。 1:映像黒味かつフリーズ状態(映像に動きが無い)の場合のみを黒味エラーとします。	GetRequest/SetRequestに対応		0
		startStatus(9)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	ソフトウェア検知状態 0:OFF(本体正面DETECTボタンが消灯) 1:ON(本体正面DETECTボタンが点灯)	GetRequest/SetRequestに対応		0
		tc(10)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	HD-SDI入力時のTC選択 0:LTC 1:VITC	GetRequest/SetRequestに対応		0
sizeAdjust(7)	sideCutHDHD(1)	hSizeSCHDHD(1)	hSizeSCHDHD(1)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定 (入力映像画角=サイドカット、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest/SetRequestに対応	irdDownConvert(5)=0	16
		vSizeSCHDHD(2)	vSizeSCHDHD(2)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直サイズ設定 (入力映像画角=サイドカット、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の垂直サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest/SetRequestに対応	irdDownConvert(5)=0	16
		hPositionSCHDHD(3)	hPositionSCHDHD(3)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定 (入力映像画角=サイドカット、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest/SetRequestに対応	irdDownConvert(5)=0	16
		vPositionSCHDHD(4)	vPositionSCHDHD(4)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定(入力映像画角=サイドカット、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest/SetRequestに対応	irdDownConvert(5)=0	16

項目1	項目2	項目3	項目4	値	種別	データ型	内容	対応オペレーション	関連 MIB	標準値
unitSetting(4)	sizeAdjust(7)	squeezeHDHD(2)	hSizeSQHDHD (1)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 水平サイズ設定(入力映像画角=スクイーズ、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =1	16
			vSizeSQHDHD (2)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 垂直サイズ設定(入力映像画角=スクイーズ、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の垂直サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =1	16
			hPositionSQHDHD (3)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 水平位置設定(入力映像画角=スクイーズ、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =1	16
			vPositionSQHDHD (4)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 垂直位置設定(入力映像画角=スクイーズ、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =1	16
		lbox16HDHD(3)	hSizeLB16HDHD (1)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 水平サイズ設定(入力映像画角=16:9 レターボックス、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =2	16
			vSizeLB16HDHD (2)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 垂直サイズ設定(入力映像画角=16:9 レターボックス、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の垂直サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =2	16
			hPositionLB16HDHD (3)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 水平位置設定(入力映像画角=16:9 レターボックス、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =2	16
			vPositionLB16HDHD (4)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 垂直位置設定(入力映像画角=16:9 レターボックス、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =2	16
		lbox14HDHD(4)	hSizeLB14HDHD (1)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 水平サイズ設定(入力映像画角=14:9 レターボックス、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =3	16
			vSizeLB14HDHD (2)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 垂直サイズ設定(入力映像画角=14:9 レターボックス、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の垂直サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =3	16
			hPositionLB14HDHD (3)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 水平位置設定(入力映像画角=14:9 レターボックス、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =3	16
			vPositionLB14HDHD (4)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 垂直位置設定(入力映像画角=14:9 レターボックス、SDI1=HD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =3	16

項目1	項目2	項目3	項目4	値	種別	データ型	内容	対応オペレーション	関連 MIB	標準値
unitSetting(4)	sizeAdjust(7)	sideCutHDSD(5)	hSizeSCHDSD (1)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 水平サイズ設定 (入力映像画角=サイドカット、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1 (素材側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =0	16
			vSizeSCHDSD (2)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 垂直サイズ設定 (入力映像画角=サイドカット、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1 (素材側)の垂直サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =0	16
			hPositionSCHDSD (3)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 水平位置設定 (入力映像画角=サイドカット、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1 (素材側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =0	16
			vPositionSCHDSD (4)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 垂直位置設定 (入力映像画角=サイドカット、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1 (素材側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =0	16
		squeezeHDSD(6)	hSizeSQHDSD (1)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 水平サイズ設定 (入力映像画角=スクイーズ、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1 (素材側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =1	16
			vSizeSQHDSD (2)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 垂直サイズ設定 (入力映像画角=スクイーズ、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1 (素材側)の垂直サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =1	16
			hPositionSQHDSD (3)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 水平位置設定 (入力映像画角=スクイーズ、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1 (素材側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =1	16
			vPositionSQHDSD (4)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 垂直位置設定 (入力映像画角=スクイーズ、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1 (素材側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =1	16
	lbox16HDSD(7)	hSizeLB16HDSD (1)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 水平サイズ設定 (入力映像画角=16:9 レターボックス、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1 (素材側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =2	16	
		vSizeLB16HDSD (2)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 垂直サイズ設定 (入力映像画角=16:9 レターボックス、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1 (素材側)の垂直サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =2	16	
		hPositionLB16HSD (3)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 水平位置設定 (入力映像画角=16:9 レターボックス、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1 (素材側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =2	16	
		vPositionLB16HSD (4)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 垂直位置設定 (入力映像画角=16:9 レターボックス、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1 (素材側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =2	16	

項目1	項目2	項目3	項目4	値	種別	データ型	内容	対応オペレーション	関連 MIB	標準値	
unitSetting(4)	sizeAdjust(7)	lbox14HDS(8)	hSizeLB14HDS(1)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定 (入力映像画角=14.9 レターボックス、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1(素材側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =3	16	
			vSizeLB14HDS(2)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直サイズ設定 (入力映像画角=14.9 レターボックス、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1(素材側)の垂直サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =3	16	
			hPositionLB14HDS(3)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定 (入力映像画角=14.9 レターボックス、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1(素材側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =3	16	
			vPositionLB14HDS(4)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定 (入力映像画角=14.9 レターボックス、SDI1=HD/SDI2=SD) SDI入力1(素材側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =3	16	
	sideCutSDHD(9)			hSizeSCSDHD(1)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定(入力映像画角=サイドカット、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =0	16
				vSizeSCSDHD(2)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直サイズ設定(入力映像画角=サイドカット、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の垂直サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =0	16
				hPositionSCSDHD(3)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定(入力映像画角=サイドカット、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =0	16
				vPositionSCSDHD(4)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定(入力映像画角=サイドカット、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =0	16
	squeezeSDHD(10)			hSizeSQSDHD(1)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定(入力映像画角=スクイーズ、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =1	16
				vSizeSQSDHD(2)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直サイズ設定(入力映像画角=スクイーズ、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の垂直サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =1	16
				hPositionSQSDHD(3)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定(入力映像画角=スクイーズ、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =1	16
				vPositionSQSDHD(4)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定(入力映像画角=スクイーズ、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =1	16

項目1	項目2	項目3	項目4	値	種別	データ型	内容	対応オペレーション	関連 MIB	標準値	
unitSetting(4)	sizeAdjust(7)	lbox16SDHD(11)	hSizeLB16SDHD (1)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 水平サイズ設定 (入力映像画角=16:9 レターボックス、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =2	16	
			vSizeLB16SDHD (2)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 垂直サイズ設定 (入力映像画角=16:9 レターボックス、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の垂直サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =2	16	
			hPositionLB16SDHD (3)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 水平位置設定 (入力映像画角=16:9 レターボックス、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =2	16	
			vPositionLB16SDHD (4)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 垂直位置設定 (入力映像画角=16:9 レターボックス、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =2	16	
		lbox14SDHD(12)	hSizeLB14SDHD (1)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 水平サイズ設定 (入力映像画角=14:9 レターボックス、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =3	16	
			vSizeLB14SDHD (2)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 垂直サイズ設定 (入力映像画角=14:9 レターボックス、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の垂直サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =3	16	
			hPositionLB14SDHD (3)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 水平位置設定 (入力映像画角=14:9 レターボックス、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =3	16	
			vPositionLB14SDHD (4)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 垂直位置設定 (入力映像画角=14:9 レターボックス、SDI1=SD/SDI2=HD) SDI入力1(素材側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	irdDownConvert(5) =3	16	
	sdSD(13)	hSizeSD(1)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 水平サイズ設定 (SDI1/SDI2とも SD-SDI) SDI入力1(素材側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応			16	
		(2)				Reserve					
		hPositionSD(3)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 水平位置設定 (SDI1/SDI2とも SD-SDI) SDI入力1(素材側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応			16	
		vPositionSD(4)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTE GER	入出力映像 垂直位置設定 (SDI1/SDI2とも SD-SDI) SDI入力1(素材側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応			16	

項目1	項目2	項目3	項目4	値	種別	データ型	内容	対応オペレーション	関連 MIB
errTrap(5)	input(1)	inVideo(1)	baseInStatus(1)	0 0 0 ~ 0 0 3	読み込み	INTEGER	入力映像ベースステータス 0:正常 1:黒味 2:フリーズ 3:レベル異常	GetRequest・Trapに対応	
			windowInStatus(2)	0 0 0 ~ 0 0 3	読み込み	INTEGER	入力映像ウィンドウステータス 0:正常 1:黒味 2:フリーズ 3:レベル異常	GetRequest・Trapに対応	
			inClosedCaption(3)	0 0 0 ~ 0 0 1	読み込み	INTEGER	入力映像クローズドキャプションステータス 0:無し 1:VBIクローズドキャプションを検出 2:ANCクローズドキャプションを検出	GetRequest・Trapに対応	
			inSync(4)	0 0 0 ~ 0 0 2	読み込み	INTEGER	入力映像の信号状態 0:SD - SDI 1:HD - SDI 2:同期断	GetRequest・Trapに対応	
	inAudio(2)	ch1InStatus(1)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch1(L)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高 4:音声エンベデッド無し	GetRequest・Trapに対応	Low1In(1) High1In(2) Silent1In(3)	
		ch2InStatus(2)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch2(R)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高 4:音声エンベデッド無し	GetRequest・Trapに対応	Low2In(1) High2In(2) Silent2In(3)	
		ch3InStatus(3)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch3(C)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高 4:音声エンベデッド無し	GetRequest・Trapに対応	Low3In(1) High3In(2) Silent3In(3)	
		ch4InStatus(4)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch4(LFE)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高 4:音声エンベデッド無し	GetRequest・Trapに対応	Low4In(1) High4In(2) Silent4In(3)	
		ch5InStatus(5)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch5(LS)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高 4:音声エンベデッド無し	GetRequest・Trapに対応	Low5In(1) High5In(2) Silent5In(3)	

項目1	項目2	項目3	項目4	値	種別	データ型	内容	対応オペレーション	関連 MIB
errTrap(5)	input(1)	inAudio(2)	ch6InStatus(6)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch6(RS)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高 4:音声エンベデッド無し	GetRequest・Trapに対応	Low6In(1) High6In(2) Silent6In(3)
			ch7InStatus(7)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch7(Lt)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高 4:音声エンベデッド無し	GetRequest・Trapに対応	Low7In(1) High7In(2) Silent7In(3)
			ch8InStatus(8)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch8(Rt)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高 4:音声エンベデッド無し	GetRequest・Trapに対応	Low8In(1) High8In(2) Silent8In(3)
		inOther(3)	inAudioCh12Phase(1)	0 0 0 ~ 0 0 1	読み込み	INTEGER	入力音声主音フェーズ 0:正常 1:逆相	GetRequest・Trapに対応	
			inAudioCh78Phase(2)	0 0 0 ~ 0 0 1	読み込み	INTEGER	入力音声副音フェーズ 0:正常 1:逆相	GetRequest・Trapに対応	
			inAudio1khz(3)	0 0 0 ~ 0 0 1	読み込み	INTEGER	入力音声1kHz 0:なし 1:検知	GetRequest・Trapに対応	
		inVitc(4)	inTcVitc(1)	0 0 0 ~ 0 0 2	読み込み	INTEGER	SDI 入力 1 (素材側) VITC の有無 0:あり(ドロップフレーム) 1:あり(ノンドロップフレーム) 2:無し	GetRequest・Trapに対応	
			inContinuity(2)	0 0 0 ~ 0 0 1	読み込み	INTEGER	SDI 入力 1 (素材側) VITC の状態 0:正常 1:不連続	GetRequest・Trapに対応	
			inErrorVitc(3)	Hhmmssff	読み込み	OCTET STRING	SDI 入力 1 (素材側) エラー状態変化時の VITC 状態変化に VITC 不連続エラーへの変化が含まれる場合は、不連続エラー検知直前の実 VITC 値が通知されます。その他の場合は1秒程度の誤差があります。VITC 不連続エラーが連続した場合は通知直前に発生したエラーの値となります。映像素材にTCが存在しない場合はダミー値"99999999"となります。	GetRequest・Trapに対応	
	inReserve4(4)		9 9 9 : 固定	読み込み	INTEGER	入力関係予備(未使用)	GetRequest・Trapに対応		
	output(2)	outVideo(1)	baseOutStatus(1)	0 0 0 ~ 0 0 3	読み込み	INTEGER	出力映像ベースステータス 0:正常 1:黒味 2:フリーズ 3:レベル異常	GetRequest・Trapに対応	

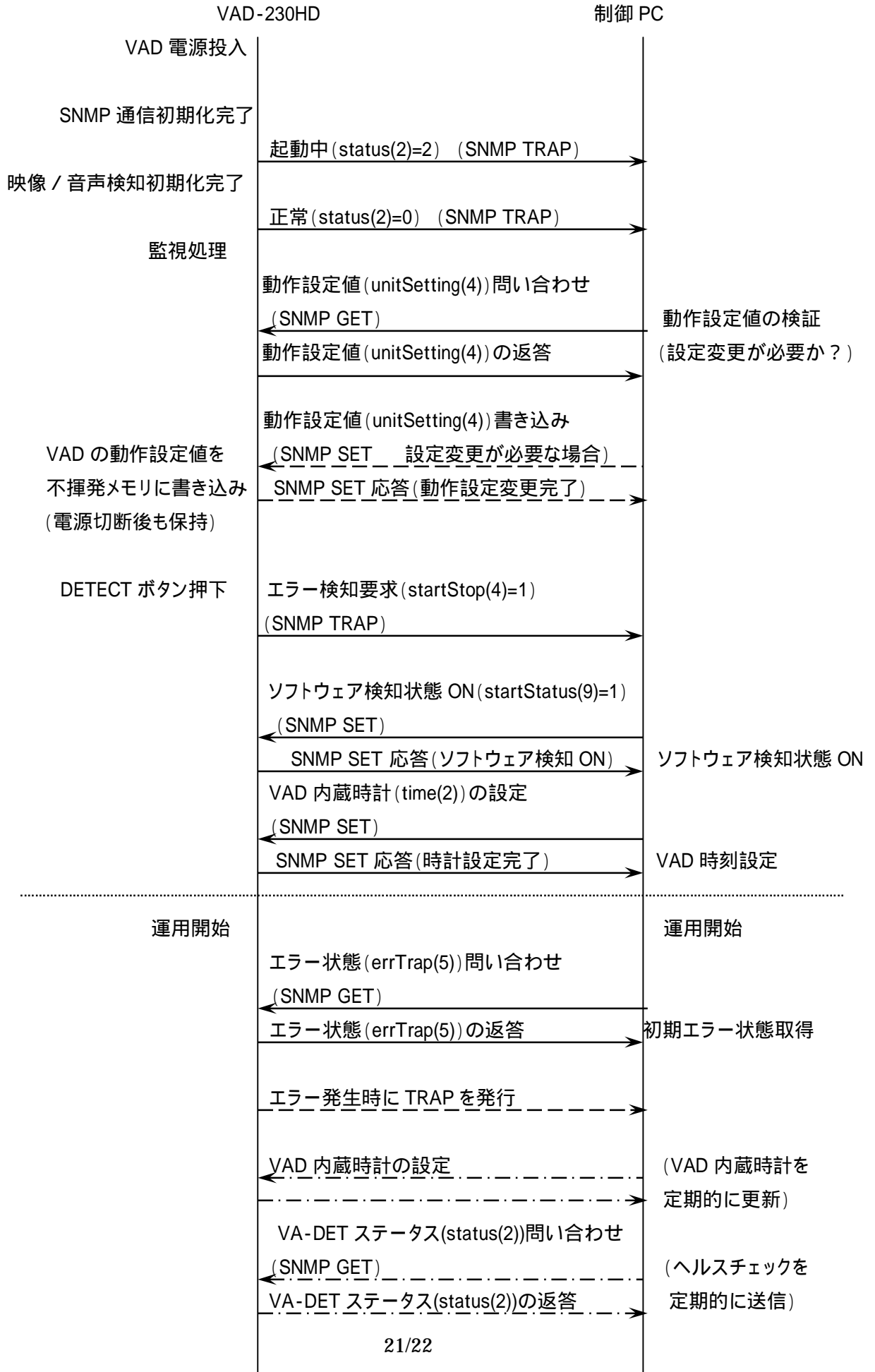
項目1	項目2	項目3	項目4	値	種別	データ型	内容	対応オペレーション	関連 MIB
errTrap(5)	output(2)	outVideo(1)	windowOutStatus(2)	0 0 0 ~ 0 0 3	読み込み	INTEGER	出力映像ウィンドウステータス 0:正常 1:黒味 2:フリーズ 3:レベル異常	GetRequest・Trapに対応	
			outClosedCaption(3)	0 0 0 ~ 0 0 2	読み込み	INTEGER	出力映像クローズドキャプションステータス 0:無し 1:VBI クローズドキャプションを検出	GetRequest・Trapに対応	
			outSync(4)	0 0 0 ~ 0 0 2	読み込み	INTEGER	出力映像の信号状態 0:SD - SDI 1:HD - SDI 2:同期断	GetRequest・Trapに対応	
	outAudio(2)	ch1OutStatus(1)	0 0 0 ~ 0 0 3	読み込み	INTEGER	出力音声 ch1(L)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高 4:音声エンベデッド無し	GetRequest・Trapに対応	Low1Out(1) High1Out(2) Silent1Out(3)	
		ch2OutStatus(2)	0 0 0 ~ 0 0 3	読み込み	INTEGER	出力音声 ch2(R)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高 4:音声エンベデッド無し	GetRequest・Trapに対応	Low2Out(1) High2Out(2) Silent2Out(3)	
		ch3OutStatus(3)	0 0 0 ~ 0 0 3	読み込み	INTEGER	出力音声 ch3(C)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高 4:音声エンベデッド無し	GetRequest・Trapに対応	Low3Out(1) High3Out(2) Silent3Out(3)	
		ch4OutStatus(4)	0 0 0 ~ 0 0 3	読み込み	INTEGER	出力音声 ch4(LFE)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高 4:音声エンベデッド無し	GetRequest・Trapに対応	Low4Out(1) High4Out(2) Silent4Out(3)	
		ch5OutStatus(5)	0 0 0 ~ 0 0 3	読み込み	INTEGER	出力音声 ch5(Ls)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高 4:音声エンベデッド無し	GetRequest・Trapに対応	Low5Out(1) High5Out(2) Silent5Out(3)	
		ch6OutStatus(6)	0 0 0 ~ 0 0 3	読み込み	INTEGER	出力音声 ch6(Rs)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高 4:音声エンベデッド無し	GetRequest・Trapに対応	Low6Out(1) High6Out(2) Silent6Out(3)	

項目1	項目2	項目3	項目4	値	種別	データ型	内容	対応オペレーション	関連 MIB
errTrap(5)	output(2)	outAudio(2)	ch7OutStatus(7)	0 0 0 ~ 0 0 3	読み込み	INTEGER	出力音声 ch7(Lt) ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高 4:音声エンベデッド無し	GetRequest・Trapに対応	Low7Out(1) High7Out(2) Silent7Out(3)
			ch8OutStatus(8)	0 0 0 ~ 0 0 3	読み込み	INTEGER	出力音声 ch8(Rt) ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高 4:音声エンベデッド無し	GetRequest・Trapに対応	Low8Out(1) High8Out(2) Silent8Out(3)
		outOther(3)	outAudioCh12Phase(1)	0 0 0 ~ 0 0 1	読み込み	INTEGER	出力音声主音フェーズ 0:正常 1:逆相	GetRequest・Trapに対応	
			outAudioCh78Phase(2)	0 0 0 ~ 0 0 1	読み込み	INTEGER	出力音声副音フェーズ 0:正常 1:逆相	GetRequest・Trapに対応	
			outAudio1khz(3)	0 0 0 ~ 0 0 1	読み込み	INTEGER	出力音声 1 kHz 0:なし 1:検知	GetRequest・Trapに対応	
		outVtc(4)	outTcVtc(1)	0 0 0 ~ 0 0 2	読み込み	INTEGER	SDI 入力 2(ダビング側) VITC の有無 0:あり(ドロップフレーム) 1:あり(ノンドロップフレーム) 2:無し	GetRequest・Trapに対応	
			outContinuity(2)	0 0 0 ~ 0 0 1	読み込み	INTEGER	SDI 入力 2(ダビング側) VITC の状態 0:正常 1:不連続	GetRequest・Trapに対応	
			outErrorVtc(3)	Hhmmssff	読み込み	OCTET STRING	SDI 入力 2(ダビング側) エラー状態変化時の VITC 状態変化に VITC 不連続エラーへの変化が含まれる場合は、不連続エラー検知直前の実 VITC 値が通知されます。その他の場合は 1 秒程度の誤差があります。VITC 不連続エラーが連続した場合は通知直前に発生したエラーの値となります。映像素材に TC が存在しない場合はダミー値 "99999999" となります。	GetRequest・Trapに対応	
	outReserve4(4)		9 9 9 : 固定	読み込み	INTEGER	出力関係予備 (未使用)	GetRequest・Trapに対応		
	inout(3)	both(1)	videoCompare(1)	0 0 0 ~ 0 9 6	読み込み	INTEGER	入出力映像比較 0:一致 エラーブロック数が videoCompare2(2)を越えない場合は一致とします。 1 ~ 9 6:不一致 エラーブロック数が videoCompare2(2)を越える場合は不一致とし、そのブロック数を通知します。	GetRequest・Trapに対応	videoCompare2(2)
			audioCompareLmain(2)	0 0 0 ~ 0 0 1	読み込み	INTEGER	L(主音) 入出力音声比較エラーの有無 0:正常 1:エラー	GetRequest・Trapに対応	audioCompare1(1)
			audioCompareRmain(3)	0 0 0 ~ 0 0 1	読み込み	INTEGER	R(主音) 入出力音声比較エラーの有無 0:正常 1:エラー	GetRequest・Trapに対応	audioCompare1(1)
			audioCompareLsub(4)	0 0 0 ~ 0 0 1	読み込み	INTEGER	L(副音) 入出力音声比較エラーの有無 0:正常 1:エラー	GetRequest・Trapに対応	audioCompare1(1)

項目1	項目2	項目3	項目4	値	種別	データ型	内容	対応オペレーション	関連 MIB
errTrap(5)	inout(3)	both(1)	audioCompareRsub (5)	0 0 0 ~ 0 0 1	読み込み	INTEGER	R (副音) 入出力音声比較エラーの有無 0:正常 1:エラー	GetRequest-Trapに対応	audioCompare1(1)
			videoCompErrorVITC(6)	Hhmmssff	読み込み	OCTET STRING	映像比較エラー発生時の VITC hh:Hour/mm:Minute/ss:Second/ff:Frame (BCD) 映像比較エラー発生時のダビング側映像 VITC を通知します。 ダビング側映像に VITC が存在しない場合はダミー値"99999999"となります。	GetRequest-Trapに対応	
			audioCompErrorVITC(7)	Hhmmssff	読み込み	OCTET STRING	音声比較エラー発生時の VITC hh:Hour/mm:Minute/ss:Second/ff:Frame (BCD) 音声比較エラー発生時のダビング側映像 VITC を通知します。 ダビング側映像に VITC が存在しない場合はダミー値"99999999"となります。	GetRequest-Trapに対応	
	startStop(4)			0 0 0 ~ 0 0 1	読み込み	INTEGER	エラー検知要求 0:無し 1:あり 本体正面 DETECT ボタンの押下で0/1がトグルします。	GetRequest-Trapに対応	

errTrap は状態に変化があった場合に通知されます。

起動シーケンス)



Rev	内容	日付	担当
0.1	暫定版として新規作成	2009/10/30	林
0.2	外観図変更 MIB 一覧表を追加	2010/01/22	山田
0.3	外観図変更 出力信号仕様変更	2010/4/16	山田
0.4	外観図変更 MIB 変更 起動シーケンス変更	2010/5/12	山田
0.5	LTC 読み取りに対応 HD-SDI 時に LTC/VITC 選択 MIB を追加	2010/5/27	山田
0.6	画像比較しきい値4設定 MIB を追加	2011/1/26	山田